

新学習指導要領について
 2017年3月告示
 実施 2020~小学校
 2021~中学校
 2022~高校

1 武内ブログへのコメント

学校や指導要領について、常観目録に書かれていて、読んでいてとてもおもしろかったです。その他にも、映画のことやレポートのことにも書かれていて、読んでいておもしろいブログだなと思います。また、先生のブログを読んだのは今日がはじめてですが、今日読んでおもしろかった。これから読んでいこうと思います。勉強にもなるので、これからは書き続けていこうと思います。

2 「生きる力」とは「これからの時代に求められる力とは」(文部科学省) 参照

変化の激しいこれからの社会を生き残るため、身に付けさせたい「確かな学力」
 「豊かな人間性」、「健康と体力」の3つの要素からなる力のこと。これらを身に付けることで、
 これから大人になって社会に出たときに対応することが出来る力をつけること。

3 「確かな学力」とは (同上)

知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し行動し、よく問題を解決する資質や自己力等も含めたもの。また、知識・技能の他に、
 学ぶ意欲・判断力・表現力・行動力もあげられる。これらを含めた幅広い学力を育てることが必要とされている。

4 2017年(新)学習指導要領改訂の趣旨は何か。無藤隆のいう4点をあげ

よ (学習指導要領改訂のキーワード参照)

1. 社会に開かれた教育課程 (学校だけでなく学校外に展開していくことを大切にする)
2. カリキュラムマネジメント - 目標の見直し、教科横断的なのは教科の壁を越えた教育としていく
3. 資質・能力 - 「確かな学力」のこと。(今もめられているものを教員させていくこと)
4. アクティブ・ラーニング - 主体的・対話的、深い学びのこと。(学ぶだけでなく、それから何をどう生かしていくのか)
5. アクティブ・ラーニングとは何か (同上)

学んだが使うことのない「化石された知識」を自分の生活が豊かにする為に「生成する知識」に変えていくことが大切ということ。また、主体的な学び、「対話的学び」、「深い学び」の3つの学びから、知識・技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力、人間性等を学びを人生や社会に生かそうとする。適性、生き生きとした習慣、未知の状態にも対応できる力の育成を行っていくこと。

6 コンピテンシーとは何か (松尾 「教育課程・方法論」 参照)

何を知っているのか(知識・技能・認知)と何ができるのか(行動)ということ。これは「社会を生き抜く力」としてグローバル化が進み、知識基盤社会が到来する中で、「何を知っているか」だけでなく、「何ができるのか」を育む教育の転換のことを言う。自らの個人が自ら問いを立て、限られた情報をもとに、他者と協力しながら直面する問題を解決していくことが求められる。知識の獲得だけでなくそれを活用し問題を解決していくことが大切。

7 21世紀型能力とは何か (同上)

資質・能力の育成が焦点となっている。生きる力を構成する知識・技能・体の3要素から、「基礎力」「思考力」「実践力」の3層の構造として整理していること。「基礎力」とは言語・数量・情報(ICT)を道具として目的に応じて使いこなすこと。「思考力」とは、ふいふか自ら学び、自分の考えをもって、他者と話し合い、考えを比較対照して統合し、学び済みの「実践力」とは、日常生活や環境の中に問題を見つめ、知識を統制し取り組み、自分や仲間にとって価値のある答え

8 これからの社会で、どのような能力が必要とされていると思うか。(自分の

考え)

これからの社会では、アクティブ・ラーニングのような能力が必要なのではないかと思ったりもする。今の社会は変化が速く、求むる知識が必要となるので、知っていることをそのままにするのではなく、何かにその知識を使っていくことで、この社会で活躍しているのではないかと思ったり。一つのものごとにとらわれず、それをまた他の場面でも活用する。ほとんどのことだし、もたれられているかである。私は思っている。私もその力を習得できるように努めていきたい。思っています。

9 他の人のコメントをもらう。

() → 本当にたくさん文を書いている、すごい!! 自分の意見もしっかりと書かれている。字も読みやすく、一生懸命、真剣に授業を受けていることが伝わります😊

1 武内ブログへのコメント

A 学校の「楽しさ」について読んで、楽しさの基準は何なのか分からなくなる。友達関係が良いから楽しいのか、教師との関わりが良いのか、それとも教科書なのか分からない。でも、学校が楽しいから進んで学校に行くとし、学ぶ意欲もあがってくると思う。

2 「生きる力」とは「これからの時代に求められる力とは」(文部科学省 参照)
「生きる力」は、自らが自ら学ぶなどの「確かな学力」、他人を思いやりや感謝を感じるなどの「豊かな人間性」、たくましく生きるための「健康や体力」などの総称。これを育てるためには、学校や家庭、地域と一緒に育てるのであり、社会に出たあとに学力を続けることのできる能力。

3 「確かな学力」とは (同上)
「確かな学力」は、自らが自ら考えることのできる力であり、基礎的・基幹的な知識・技能、学習意欲、思考力・判断力、表現力を含めた幅広い学力。各学校では、わかる授業」を行い、確かな学力を育てることによって実現している。

4 2017年(新)学習指導要領改訂の趣旨は何か。無藤隆のいう4点をあげよ (学習指導要領改訂のキーワード参照)

- 社会に開かれた教育課程
↳ 社会に還元できる学校を目指す
- カリキュラム・マネジメント
↳ 目標の見直し、教科横断的、教科をまたいだ
- 資質・能力
↳ 「確かな学力」のこと?
- アクティブラーニング
↳ 主体的・対話的で深い学びのこと?

5 アクティブ・ラーニングとは何か (同上)
アクティブ・ラーニングとは、主体的・対話的で深い学びの実現と呼ばれており、意欲を持って学び、学びを振り返りと見直しを持って学び、各自が各自の考えを表現し、共有し、教科等の見方・教方を深め、自分の問題解決の道具として使えるようにしていく過程

6 コンピテンシーとは何か (松尾 「教育課程・方法論」 参照)
コンピテンシーとは、自立した個人が自ら問いを立て、限られた情報をもとに、他者と協力し合ながら直面する諸課題を解決していく社会を生き抜く力である。

7 21世紀型能力とは何か (同上)
21世紀型能力とは基礎力、思考力、実践力の三つの能力の総称である。基礎力とは目的に応じて使われる力、思考力とは、人々が自らが自らの考えをめぐり、他者と話し合い、学び続ける力。この二つの力を基礎に実践力がある。

8 これからの社会で、どのような能力が必要とされていると思うか。(自分の考え) 今の社会では、先の見通せない、現実から新たな活路を押し、実践する能力が必要とされる。今後、先が見えず、いつ突然壁にあたってもおかしくない人生である。そのためには、言語力やICTスキルといった基本的な技術から応用的な力まで様々な力の統合が必要であると思う。

9 他の人のコメントをもらう。
→ 今、変化の激しい社会なので、実践するには、様々な能力が必要だと私も考えるので元々張って下さい!